

★森のおはなし探検隊★

6月のテーマは『カムフラージュ』

子どもから大人まで楽しめるプログラムを
月替わりで用意しています。

森の中で自然物によく似たニセモノを見つけます。

日 時：6月17日(日) 13:00~14:00

場 所：子どもホール2階 集合

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

☆わくわく体験教室☆～小枝で動物作り～

日 時：6月24日(日) 13:00~15:00《受付13:45まで》

※材料がなくなり次第終了

※場 所：里のいきもの館レクチャールーム

参加費：100円(別途要入園料)・事前申込不要

園内で集めた小枝を使って、いろんな動物を作ります。

小枝も集まれば動物に変身！

「むし」展

「むし」と「昆虫」・・・単なる言葉の違いのようでいて、この2つ、生き物としてどう違うのか、皆さんは考えたことがありますか？

今回の展示では、こうした雑学的なお話から外来種問題などの少し専門的なお話まで、生体や標本をまじえて紹介します。

開 催 日：5月26日(土)~9月2日(日)

開催場所：里のいきもの館

参 加 費：観覧無料(別途要入園料)



天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承ください

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

到津の森公園
森の仲間たち

「到津の森公園」公園事務所

小倉北区上到津4-1-8

Tel 093-651-1895 〒803-0845

<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 6月号 2012年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」12年6月1日発行 通巻112号

恋

す

る

の

七

タ

フ

エ

星に願いを・・・

“織姫”と“彦星”が一年に一度会うという七夕。

この七夕にちなんで、

下記の期間中「恋する七夕フェア」を開催し、
各種のイベントを開催します☆

フェア期間中毎日 9:00~17:00

管理センター2階 ロビーにて

動物型やハート型の短冊を用意しています。

かわいい短冊に想いを込めて、星に願いをかけましょう。



恋の動物ラリー

フェア期間中の土曜日・日曜日 9:00~17:00

南北両ゲートにて冊子配布 ※カップル限定

動物園を楽しむためのラリー冊子を手に園内をめぐり、
二人で協力しながら挑戦するラリー。
完走者には記念品をプレゼント！

折り紙で七夕飾りをつくろう

フェア期間中の土曜日・日曜日

13:00~14:00 管理センター2階 ロビーにて

※各回当日先着20名程度

折り紙で七夕の飾りをつくり、それをつないでモビールにします。
完成品は自宅に持ち帰って飾ろう！

若葉、新樹のさわやかな初夏から、風の中にかすかに湿気を感じる候へ移ろうとしています。

春から夏にかけて、白い花の好きな私には楽しい日々が続いていて、たとえば北九州市内でも、ヒトツバタゴ・ウツギ・ハクウンボク・リョウブ・イボタノキ・ミズキ・エゴノキ・ガマズミ……。特に今市内の山の尾根等で目立つのは、濃い緑の葉を隠してしまうほど、くっきり白い花をつけるヤマボウシでしょうか。うん、ちょっと変なだけど聞いた事のあるような名前だなどと思われる方も多いのでは。最近では街路樹にもよく用いられていますよね。そして「到津の森公園」にもアライグマ舎横に植えられています。

町中のヤマボウシは緑濃い葉が生い茂るとまではゆかないのですが、その分美しい模様をつけた樹皮が目立つようになってゆきます。

十文字の白く美しい花、4枚の花びらに見える部分は、実は花を保護する総苞。本来の花は真中の緑の部分で、花卉4枚のごく小さな花が集まっているのです。

つまり花ならぬ総苞こそが、全体を惹き立たせ虫を引き寄せる立役者となっています。

和名の「山法師」は中心の小花の集合体が緑の球状になっている部分を坊主の頭、総苞の白い部分を頭巾に見立てたもの。漢名は四照花。また秋にサクランボのような形の赤い実をつけ、食べられる事はあまり知られていません。よく熟すと果肉は薄黄色のクリーム状となり、果皮の武骨な雰囲気似合わぬ優しい味となっています。昔の子供達はよく食べたのでしょうか。ヤマダンゴのニックネームも伝えられていて、今より人々に親しまれていたのだなと感じられるのです。

園内ではそろそろ自慢のアジサイのつぼみが膨らみ始め、クチナシ・ザクロ・タイサンボクの開花も続きます。

足元では、以前バードゲージ付近に住みついたキキョウソウが南ゲート横の斜面で花開いたり、コウホネ・ハンゲショウ・ドクダミ・ハキダメギク・セキショウ・チガヤ等の草花が、皆様をお待ちしております。

文：花咲くおばさん

花 暦 水 無 月

森のなかま・タガメ

今年も殖えました

里のいきもの館で飼育しているタガメ。5月23日に4代目が産まれました。

成虫になると茶色一色の地味な昆虫ですが、孵ったばかりの初令幼虫は緑と黒の縞模様をしています。脱皮をくり返して成長するにつれて緑一色の幼虫になり成虫になります。成虫はトノサマガエルも襲うような獰猛な昆虫です。初令幼虫の時からメダカのように自分より大きな獲物を捕まえて食べてしまいます。

写真は飼育容器の中なので2匹でメダカを襲っていますが、野生下ではこんなことはまずありません。タガメも昔はあちこちで観察できる普通の昆虫だったようですが、今では福岡県内でも絶滅危惧Ⅱ類に分類されていて観察するのが難しくなっています。



飼育展示係 吉森 安英